

若者プロジェクト (仮称) 第2回開催レポート

39歳以下の「若者」で考える武蔵野のカイゴ



若者プロジェクト (仮称) とは？

市内の39歳までの介護職の方々が、地域の「カイゴのシゴト」をより良いものにするために交流し、学び合い、主体的に活動することを目的としたプロジェクトです。情報共有から、介護業界のイメージアップに関することまで…自由な発想で、新たな風を地域におこします。

前回の振り返り

先月ついにキックオフとなった若者プロジェクト (仮称) のミーティング。記念すべき第1回目は15名の方が参加され、グループごとに自由な意見交換 (バズセッション) をおこないました。介護のイメージや本プロジェクトで実施したいことをテーマに様々なアイデアを共有しました。

誰のためのワーク？

本プロジェクトでやりたいことについて、介護技術の向上を目的としたものや、職場での悩みを共有したい、など、日々の現場を意識した「メンバーのためのワーク」と、介護職のイメージアップに関わる取り組みや、市民への理解を促す『『介護職』のためのワーク』の双方が挙がりました。本プロジェクトがただのストレス発散場にならぬよう (そのような場も必要かもしれませんが)、その取り組みが何のためのものなのかと意識し続けることもプロジェクトを長く続けるために必要となります。今後の集いでは、メンバーのため、介護職のためのワークをバランスよく実施していきたいです。

今回の内容

10月12日 (金) の夜に開催された第2回目は台風の影響が心配されましたが無事に開催することができました。業務により残念ながらお休みされた方々もいらっしゃいましたが、天候の悪い中でも11名の方が参加されました (翌日の台風対応含め、皆様本当にお疲れさまでした)。

初参加の方もいたため、改めて全員で自己紹介つつ…アイスブレイク兼ねて「ニックネーム」についてもそれぞれ一言いただきました。呼ばれている名前、または呼ばれたい名前をネームシールにも記入いただき、時折ニックネームを呼び合う場面も。前回に続き、とても和やかな雰囲気でした。

吉祥寺のまちで出来る啓発イベント

今回は介護職のイメージアップを目指した企画について話し合いました。人材育成センターが年度内に開催を予定している「お仕事フェア」と交え、皆様からアイデアをいただきました。



軽食は「米八」さんのおこわいなり。もっちり、ボリューム満点でした！
お持ち帰りもできるミニドーナツも。



吉祥寺のまちで出来る介護職の啓発イベントは？ (一部抜粋)

- ・フリーペーパーの作成
- ・車イス、杖の体験、高齢者疑似体験で実際に介護職のケアを体験する
- ・介護する側、される側のファッションについて
- ・地域のお店とコラボ
- ・災害対策など、身近なことに結びつく内容
- ・車イスで街をあるく ...etc.

「専門性を知ってほしいが集客力を考えると…」 「ただの娯楽になってしまわないか」 「おもしろい企画でないと立ち寄ってもらえない」 など…頭を悩ませながらも活発な話し合いとなりました。数々のアイデアを参考に、今後センターにてお仕事フェアの詳細を考えてまいります。

次回テーマについて

今回のテーマは「介護職の服装、印象」です。介護職のユニフォームや身だしなみ、ファッションイメージ、民間の取り組みについてなど、色々な情報・意見を交換しながらそれぞれの意識を変えていきます。また、今回話した「お仕事フェア」についても、より具体的に話ができるよう準備してまいります。初参加の方もぜひお待ちしておりますので、ぜひお問い合わせください。それでは、次回のレポートもどうぞお楽しみに！

11月11日 (月) 午後7時～8時30分

武蔵野プレイス スペースC

お申込みは人材育成センターまで

【本プロジェクトに関するご質問・ご意見はこちらまで】

武蔵野市地域包括ケア人材育成センター (中島・桑谷)

TEL: 0422-20-3741 FAX: 0422-23-1164

Follow Me! >  @m_jinzai